



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月30日

上場会社名 株式会社トーマンデバイス 上場取引所 東
 コード番号 2737 URL <http://www.tomendevices.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 妻木 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 原 英記 TEL 03-3536-9150
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	194,546	30.6	3,692	29.3	3,565	72.5	2,678	86.2
2019年3月期第3四半期	148,941	△0.3	2,856	42.6	2,067	23.6	1,438	18.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,621百万円 (77.1%) 2019年3月期第3四半期 1,480百万円 (0.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	393.80	326.94
2019年3月期第3四半期	211.44	187.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	88,411	31,287	35.1	4,566.54
2019年3月期	79,694	29,278	36.5	4,280.46

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 31,058百万円 2019年3月期 29,113百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	90.00	90.00
2020年3月期	—	0.00	—		
2020年3月期（予想）				100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	10.3	3,370	△4.5	3,350	26.9	2,400	26.2	352.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご参照下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	6,802,000株	2019年3月期	6,802,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	666株	2019年3月期	611株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	6,801,378株	2019年3月期3Q	6,801,389株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
3. 補足情報	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益の改善や個人消費の持ち直しが続き、緩やかな回復が続きました。一方、世界経済においては、米中貿易摩擦の出口が見えない状況に加え、欧州政治問題、中東情勢や香港デモといった地政学的問題など、海外経済の不透明感が継続しております。

エレクトロニクス業界におきましては、スマートフォン需要の一段落に加え、データセンター向けサーバー投資の低迷など市況停滞が継続していたものの、中国において5Gスマートフォンの本格サービスが開始されるなど、5G本格普及への期待感から5G関連やデータセンター関連等で需要回復の兆しが見え始めております。

このような状況下、当社グループは、新規顧客開拓や既存ビジネスのシェア拡大により、国内市場においてデータセンターストレージ向けにNAND FLASH製品の販売が好調であったこと、ファウンドリービジネス等の新規商材の売上が拡大したこと、海外市場においてはスマートフォンの高機能化による高精細カメラCIS（CMOSイメージセンサー）の売上が拡大したことから、売上高は1,945億46百万円（前年同期比30.6%増）と第3四半期連結累計期間で過去最高を更新いたしました。加えて、収益性の改善と新規ビジネスの貢献により、営業利益は36億92百万円（同29.3%増）、経常利益は35億65百万円（同72.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は26億78百万円（同86.2%増）となりました。

なお、品目別の実績については、7ページの「3. 補足情報（品目別販売実績）」をご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産の残高は、884億11百万円（前連結会計年度末比10.9%増）となりました。これは主に受取手形及び売掛金および商品が増加したことによるものです。

負債の残高は、571億24百万円（同13.3%増）となりました。これは主に前受金が増加したことによるものです。

純資産の残高は、312億87百万円（同6.9%増）となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と配当金の支払によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

利益面につきましては、当第3四半期連結累計期間において2019年10月30日に公表いたしました予想数値を上回る推移となっておりますが、国内外の経済動向およびメモリーの価格動向など不確定要素が多いため、通期の連結業績予想につきましては、現時点においては前回予想値（2019年10月30日公表）を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,161	5,712
受取手形及び売掛金	47,632	52,094
商品	11,868	15,117
前渡金	11,603	9,836
預け金	2,581	3,887
その他	336	283
流動資産合計	78,184	86,932
固定資産		
有形固定資産	46	81
無形固定資産	253	206
投資その他の資産	1,209	1,191
固定資産合計	1,509	1,479
資産合計	79,694	88,411
負債の部		
流動負債		
買掛金	29,278	33,606
短期借入金	5,882	1,095
未払法人税等	354	662
前受金	3,119	7,963
賞与引当金	128	86
未払金	10,419	12,913
その他	805	343
流動負債合計	49,987	56,671
固定負債		
退職給付に係る負債	389	412
その他	38	39
固定負債合計	428	452
負債合計	50,416	57,124
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,054	2,054
資本剰余金	1,984	1,984
利益剰余金	24,398	26,464
自己株式	△1	△1
株主資本合計	28,435	30,501
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	273	218
繰延ヘッジ損益	△20	△27
為替換算調整勘定	424	366
その他の包括利益累計額合計	677	556
非支配株主持分	165	229
純資産合計	29,278	31,287
負債純資産合計	79,694	88,411

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）
売上高	148,941	194,546
売上原価	144,193	188,848
売上総利益	4,747	5,698
販売費及び一般管理費	1,891	2,006
営業利益	2,856	3,692
営業外収益		
受取利息	2	167
受取配当金	15	16
持分法による投資利益	—	36
その他	15	20
営業外収益合計	33	240
営業外費用		
支払利息	296	53
債権売却損	35	13
為替差損	403	280
持分法による投資損失	68	—
その他	17	21
営業外費用合計	822	368
経常利益	2,067	3,565
税金等調整前四半期純利益	2,067	3,565
法人税等	606	820
四半期純利益	1,461	2,744
非支配株主に帰属する四半期純利益	23	65
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,438	2,678

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,461	2,744
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△101	△54
繰延ヘッジ損益	△1	△7
為替換算調整勘定	121	△60
その他の包括利益合計	19	△122
四半期包括利益	1,480	2,621
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,452	2,557
非支配株主に係る四半期包括利益	28	63

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 補足情報

(品目別販売実績)

品目別	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		増減率 (%)	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		金額 (百万円)	構成比 (%)
メモリー	97,333	65.4	110,904	57.0	13.9	134,496	61.8
システムLSI	29,958	20.1	56,095	28.8	87.2	49,163	22.6
半導体小計	127,291	85.5	166,999	85.8	31.2	183,659	84.4
液晶デバイス	13,494	9.1	16,326	8.4	21.0	20,413	9.4
その他	8,156	5.4	11,221	5.8	37.6	13,560	6.2
合計	148,941	100.0	194,546	100.0	30.6	217,632	100.0

(メモリー半導体)

DRAM、NAND FLASH等の一部製品において緩やかな価格下落が継続しているものの、新規顧客開拓や既存ビジネスのシェア拡大により、国内市場でデータセンターストレージ向けにNAND FLASH製品の売上が好調であったこと、中国においても同製品の売上が好調であったことから、この分野の売上高は1,109億4百万円（前年同期比13.9%増）となりました。

(システムLSI)

中国市場において、スマートフォンの複眼化および高精細化に加え、5Gスマートフォンのサービス開始による買替促進により高画素CISの売上が拡大していること、国内市場では新規ファウンドリービジネスの獲得により、この分野の売上高は560億95百万円（同87.2%増）となりました。

(液晶デバイス)

継続して液晶パネルの価格は下落しており、モニター向け売上は減少しているものの、大型テレビ向けの売上が伸びたことから、この分野の売上高は163億26百万円（同21.0%増）となりました。

(その他)

国内市場において工作機等向けのバッテリーの売上が減少しているものの、スマートフォン向け有機ELパネルの売上が伸びたことに加え、設備ビジネスの売上が拡大したことから、この分野の売上高は112億21百万円（同37.6%増）となりました。

(ご参考)

「メモリー」に含まれる主な商品は以下のとおりです。

DRAM、NAND FLASH、MCP（マルチチップ・パッケージ）、SSD（ソリッドステートドライブ）等

「システムLSI」に含まれる主な商品は以下のとおりです。

SoC（システム・オン・チップ）、DDI（ディスプレイドライバーIC）、CIS（CMOSイメージセンサー）等

「液晶デバイス」に含まれる主な商品は以下のとおりです。

LCD（液晶パネル）等

「その他」に含まれる主な商品は以下のとおりです。

LED、有機EL、MLCC（積層セラミックコンデンサ）、バッテリー、設備等